

はじめに

近年、全国各地で豪雨災害による自然災害が相次いで発生し、甚大な被害をもたらしています。平成30年(2018年)には西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」、令和元年(2019年)には東日本を中心とした「令和元年東日本台風(台風第19号)」など、これまでの想定を超えた自然の猛威が各地を襲いました。また地震は、東日本大震災以降、震度7を2度観測した平成28年(2016年)熊本地震、向日市では震度5弱を観測した平成30年(2018年)大阪北部地震などが発生し、各地に甚大な被害が発生しました。

こうしたこれまでの経験を基に、向日市ではいつ起こるか分からない災害の発生に備えて、対策の強化を図っておりますが、災害が発生した場合、市や防災関係機関の対応だけでは立ち向かうことはできません。被害を最小限にとどめるためには、自らの命は自らが守る意識を持ち、実践することが大切です。

今回の更新は、京都府から公表された、「西羽束師川・西羽束師川支川、新川の洪水浸水想定区域図の追加」、「避難所での過ごし方」、「マイ・タイムラインの作成」など、市民のみなさんに日常的に防災に取り組んでいただける内容となっております。ご家庭のみならず地域や職場など、あらゆる場面でご利用いただき、災害時に備えていただきたいと思います。

もくじ

向日市防災マップについて	2
1 災害への備え	
1-1 災害情報の伝達先と入手方法	3
1-2 非常持出品、備蓄品	4
1-3 市内の避難場所を覚えておきましょう	5
1-4 避難所での過ごし方を考えておきましょう	7
2 地震	
2-1 地震の種類	9
2-2 日頃から地震に備えよう	11
2-3 地震時の行動	13
3 水害・土砂災害	
3-1 向日市で想定される水害	15
3-2 浸水被害を軽減する方法	16
3-3 とるべき行動〈水害〉	17
3-4 とるべき行動〈土砂災害〉	19
3-5 情報の種類と行動の目安	21
3-6 日頃からの備え	23
3-7 内水氾濫浸水想定区域	24
3-8 河川別浸水想定区域	25
3-9 桂川堤防決壊時の浸水到達時間	27
4 ハザードマップ	
4-1 ハザードマップを確認	29
4-2 索引図	31
4-3 ハザードマップ	33
5 マイ・タイムライン	
マイ・タイムライン	49

向日市防災マップについて Muko City Disaster Prevention Map

このマップは、市民のみなさんが、市で想定される災害を知り、対策を考え、自助・共助でできることから取り組むことにより、災害時に少しでも被害を軽減することを目的としています。家族でこのマップを見ながら防災会議を開き、身の周りで起こりうる災害や避難について考えてみましょう。

自助、共助の重要性

～災害から自分自身と家族を守れるのは、自分自身です～

防災対策は、「**自らの命は自らで守る。**」自助を原則としています。

自分自身の安全を確保したうえで、高齢者や子どもたちを地域で守ることが重要です。普段から災害に関する知識を身につけ、災害を正しく理解し、何を備えておけばよいかを考え、災害に対する準備をしましょう。

あなたのすること

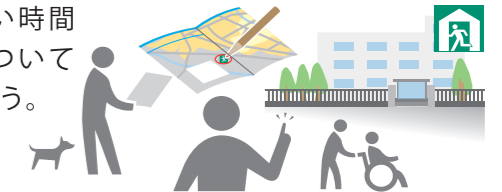
家の位置を確認し、避難経路を考えよう

あなたの家の場所をマップに書き込み、最寄りの避難場所・避難所を複数選びましょう。



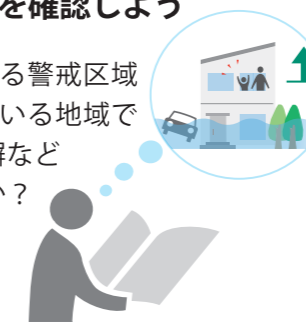
実際に避難場所・避難所まで歩いてみよう

地図で選択したそれぞれの避難場所・避難所までの経路を確認しましょう。また、避難経路が安全かどうか、避難にどのくらい時間がかかるかについても確認しましょう。



家の周りの災害の危険性を確認しよう

あなたの家は、土砂災害による警戒区域もしくは、浸水が想定されている地域ですか？家の周りにブロック塀などの危険な場所はありませんか？



災害や避難について、話し合ってみよう

あなたの家だけでなく、家族の職場や学校、よく行く場所などについても避難所や危険性を確認しましょう。



マイ・タイムラインを作ってみよう

マイ・タイムラインは、大雨や台風が接近しているときに自分や家族が「いつ」「何をするのか」をあらかじめ決めておく計画表のことです。いつ災害が起こっても落ち着いて行動できるように個人や家庭の実情に合ったそれぞれのマイ・タイムラインを作成しておきましょう。

